「新たな休暇制度」が4月1日施行

「不妊治療休暇」を獲得

組合が要求してきた休暇制度が実現

秋の府労組連闘争で獲得した休暇制度の概要について、2月5日府教委から回答がありました。

子育て部分休業 不妊治療休暇 ボランティア休暇

LGBT等性的少数者の職員の職員の休憩時間(分割・延長できる弾力的運用)の5点です。いずれの制度も4月1日施行日となっています。

子育て部分休業

無給で、小学校又は特別支援学校の小学部1～3年生の子どもを養育する職員(非常勤を除き、短時間・臨時的任用含む)が対象です。勤務時間の2時間以内(15分単位)で取得できます。

不妊治療休暇

無給で、男女ともに所得できます。

大阪教職員組合(大教組)は府教委に、不妊治療休暇が無給で期間も6日と短く、治療に専念できる長期の不妊治療休暇(病休とせずに)も検討せよと要望しました。これは、少子化対策としても必要な施策と考えます。

ボランティア休暇

橋下知事の時に廃止されて以降、復活を要求し続けてきました。有給で年5日間とれます。

相談は組合へ

勤務条件や休暇の取り方などについて、何か不安なこと納得のいかないことがありましたら、遠慮なく組合にご相談ください。

大教組・泉北教組は、これからもすべての職員が働きやすい労働条件を整えていけるように、府教委や地教委と交渉を行っていきます。そんな組合の力量を高めていくためにも、ぜひ組合にご加入ください。

	子育て部分休業	不妊治療休暇	ボランティア休暇	LGBT等性的少数者の職員の休暇	障がいのある職員の休憩時間
対象	小学校又は特別支援学校の小学部1～3年生の子を養育する職員(短時間勤務・臨時的任用職員含む。非常勤職員除く)	不妊治療を受ける職員【男女ともに取得可】(短時間勤務・臨時的任用職員含む。非常勤職員除く)	常勤職員、短時間勤務・臨時的任用職員、非常勤職員含む	常勤職員、短時間勤務・臨時的任用職員(非常勤職員除く)	ア、身体障がい者 イ、知的障がい者 ウ、精神障がい者 エ、ア～ウのほか、当該職員の特性により特に必要と認められる職員、障がいのある職員のうち、早出遅出勤務が認められる職員と同様の定義
所得期間	勤務時間の始め又は終わりに1日2時間以内(15分単位で取得可)	年6日(日又は時間単位で取得可)	年5日(日単位の取得)	各休日の日数と同様	休憩時間の分割及び延長(15分単位で可)
取得条件	部分休業の取得条件と同様となる見込み	以下の治療を対象とする ・一般不妊治療(タイミング法、排卵誘発法、人工授精) ・生殖補助医療(体外受精、顕微授精)	報酬を得ない社会貢献活動で、勤務しないことが相当と認められる場合	特別休暇 ・結婚休暇(a) ・服喪休暇(a) ・妻の出産休暇(b) ・男性の育児参加休暇(b) ・子の看護休暇 ・短期介護休暇 介護休暇 介護時間 (いずれも事実婚と同様に扱う) (b=非常勤職員は制度なし)	学校長が職員からの願書と勤務状況を確認
申請要件	部分休業の取得条件と同様となる見込み	医療機関からの『不妊治療連絡カード』、『所定意見書』等で学校長が確認	学校長へ活動場所、活動内容、仲間団体等について記載した書面を提示	パートナーシップ宣誓書受領証()及び住民票等	
給与	無給	無給	有給	○特別休暇は有給、(a)は非常勤職員も有給 ○介護休暇、介護時間は無給	影響しない

組合加入申込書

泉北教職員組合 執行委員長 宛

年 月 日

泉北教職員組合に加入します。

学校名

氏名

住所

泉北教組に加入して子どもと教育を守ろう！